

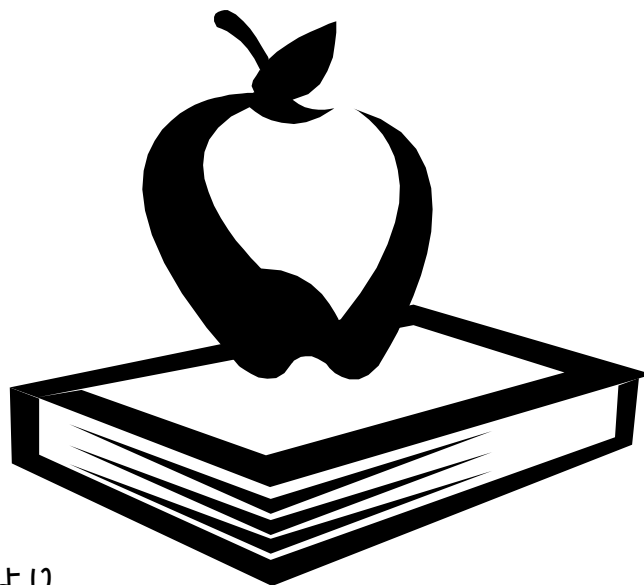
文学館ウィークエンド・カレッジ

Weekend College Program of Hokkaido Museum of Literature

2010年度開講講座総合案内・受講申込書

文学や芸術および隣接諸分野の「知」の成果に体系的にふれながら、より水準が高く本格的かつ継続的な勉強ができる場「ウィークエンド・カレッジ」。

本年度も北海道立文学館を会場に開講いたします。各講座の開講に際しては、それぞれの分野で専門的な研究活動が続ける講師陣の協力が得られました。皆様の積極的なご参加をお待ちいたします。



受講申込：2010年5月1日（土）より

定員となりしだい、申し込み受付を終了いたします。

申込方法：「受講申込票」を事務局（文学館）まで郵送、FAX、Eメールでお送りください。電話での予約も可能です。（受付時間 am. 9:00~pm. 5:00）

「受講申込用紙」はこの案内書に添付されています。詳細については、この案内書をお読みください。

問い合わせ先：財団法人北海道文学館

〒064-0931 札幌市中央区中島公園1番4号

（地下鉄南北線中島公園駅または幌平橋駅下車 徒歩6分）

Tel. 011-511-7655 Fax. 011-511-3266

Eメール bungaku@h-bungaku.or.jp

講座内容案内 -

児童文学創作教室

講義概要		開講日
<p>あなたも創作にチャレンジしてみませんか？ 初めてトライする人も、もっと書いてみたいと思っている人も大歓迎です。 昨年度に引き続き全11回の講座は、前半は実作指導を中心に、後半は作品集への発表に向けて指導をしていきます。あなたの想いを形にしていきましょう。1年間の最後に受講生のみなさんの成果を作品集として発行します。</p>		5月21日(金)
		6月18日(金)
		7月16日(金)
		8月20日(金)
		9月17日(金)
		10月15日(金)
		11月19日(金)
		12月17日(金)
		1月21日(金)
		2月18日(金)
		3月18日(金)
		開講時間
		13:30 ~ 15:00
講師	受講料	
小笠原治嘉、加藤多一、柴村紀代、升井純子 (児童文学者)	全11回 16,500円(15,000円)	
備考	定員20名。[受講料の()は北海道文学館賛助会員受講料]	

朗読で楽しむ北海道の文学

講義概要	開講日	
<p>朗読は、複数の人たちと共に読書を楽しむ方法です。 著者が作った物語を自分の音声表現で他人に伝えるには、自分だけが理解するための音読にはない発想と技術が必要です。 他人に伝える音声表現に必要な考え方や鍛錬(伝わりやすいイントネーション、文章のくくり方、句読点の扱いなど)を北海道の文学作品をテキストに、楽しみながら実践的に学んでいきます。</p>	5月22日(土)	11月13日(土)
	6月12日(土)	11月27日(土)
	6月26日(土)	12月11日(土)
	7月10日(土)	12月25日(土)
	7月24日(土)	1月8日(土)
	8月28日(土)	1月22日(土)
	9月11日(土)	2月12日(土)
	9月25日(土)	2月26日(土)
	10月9日(土)	
	10月23日(土)	
		開講時間
		10:30 ~ 12:00
講師	受講料	
館野直光(ナレーター・元NHKアナウンサー)	全18回 27,000円(24,000円) (5月、10月の2回に分納可)	
備考	定員10名。[受講料の()は北海道文学館賛助会員受講料]	

折口信夫・釈迢空 学問と作品を読む

講義概要		開講日
<p>国文学者・民俗学者として戦前戦後の思想形成に大きな影響力を發揮した折口信夫(1887-1953)は、釈迢空の筆名でも活躍し、歌集『海やまのあひだ』、詩集『古代感愛集』、小説『死者の書』などの優れた作品を残しました。その名は知らなくても、物語や映画などで傷ついた流れ者が登場する話を目にしたことのない人はいないでしょう。折口信夫はこのような話の形に「貴種流離譚」と命名し、流れ者には有史以前の神の原像「まればと」の姿が投影されていると説きました。その学問体系の有効性は現代もなお失われていません。この講座では折口信夫の著作を読んで、現代文化の諸相をどのように読み解くことができるのか説いていきます。</p>		6月5日(土) 7月3日(土) 9月11日(土) 10月2日(土) 11月6日(土) 12月4日(土) 1月8日(土) 2月5日(土) 2月19日(土) 3月5日(土)
		開講時間
		13:30 ~ 15:00
講師	受講料	
月岡道晴(國學院大學北海道短期大学准教授・ 同短大部コミュニティカレッジセンター長)	全10回 15,000円(13,500円)	
備考	定員10名。[受講料の()は北海道文学館賛助会員受講料]	

遺書にみる人間ドラマ～生と死のはざままで～

講義概要		開講日
<p>永年にわたって合田一道氏が集めた資料を基に、歴史に残る人びとの様々な最期の言葉に残された人間ドラマを合田氏が語ります。</p> 第1回 文学者 有島武郎、芥川龍之介、太宰治 第2回 幕末 吉田松陰、白虎隊、土方歳三 第3回 女性 高橋お伝、唐人お吉、松井須磨子、金子ふみ子		6月12日(土) 7月10日(土) 8月21日(土)
		開講時間
		13:30 ~ 15:00
講師	受講料	
合田一道(ノンフィクション作家)	全3回 4,500円(4,000円)	
備考	定員20名。[受講料の()は北海道文学館賛助会員受講料]	

シネマにみる文学の風景

講義概要		開講日
第1回 『Love Letter』(小樽市) 喜多義憲 第2回 『挽歌』(釧路市) 武島靖子 第3回 『阿寒に果つ』(札幌市) 高村賢治 第4回 『森と湖のまつり』(標茶町) 佐々木純 第5回 『コタンの口笛』(千歳市) 加藤敦 第6回 『駅 / STATION』(小樽市) 和田由美	6月19日(土) 7月17日(土) 8月28日(土) 9月18日(土) 10月16日(土) 11月20日(土)	
札幌に「映像ミュージアムを設置したい!」という思いは、かねてから映画ファンや映画関係者の間にありました。北海道は全国でも有数のロケ地で、文学とゆかりの作品も数多くあります。また、映画上映では全国とほぼ同じくらい古い歴史を持ち、未発掘の映像資料もかなり眠っています。その貴重な財産が放置され、消滅していくのを私たちは、黙って見過ごす訳にはいきません。そこで、2001年に設立されたのが、NPO法人「北の映像ミュージアム」推進協議会です。以来、北海道をロケ舞台とした作品の上映やロケ地を歩いてルポする新聞連載「シネマの風景」など、数多くの活動が続いています。このウィークエンド・カレッジでは、北の映像ミュージアムのメンバーが、実際に現地ルポした作品の魅力や裏話などを多角的に紹介します。		開講時間 13:30 ~ 15:00
講師	受講料	
喜多義憲、武島靖子、高村賢治、 佐々木純、加藤敦、和田由美 (「北の映像ミュージアム」推進協議会メンバー)	全6回 9,000円(7,500円)	
備考	定員20名。[受講料の()は北海道文学館賛助会員受講料]	

モーツァルトの楽しみ パート

講義概要		開講日
音楽史上最高の作曲家、ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト。前回はその誕生から、旅から旅にあげられた青春時代、ピアニストとしてウィーン楽壇に君臨していた中年時代、経済的不如意に苦しんだ晩年までを、器楽とオーケストラ曲を中心におってみました。一方また、モーツァルトは、劇場の人でもありました。オペラ・セリア、ブッフア、ジングシュピールと劇場作品は20曲以上を数え、いまでも世界中で上演されて高い人気を誇っています。今回は、こうした劇作品や室内楽を中心に、映像や録音などを鑑賞しながら、その魅力に満ちた世界を紀行します。時間の関係で前回もれたピアノ曲や歌曲、コンチェルトなども、随時、解説していきます。	6月26日(土) 7月24日(土) 9月25日(土) 10月23日(土) 11月13日(土)	
音楽史上最高の作曲家、ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト。前回はその誕生から、旅から旅にあげられた青春時代、ピアニストとしてウィーン楽壇に君臨していた中年時代、経済的不如意に苦しんだ晩年までを、器楽とオーケストラ曲を中心におってみました。一方また、モーツァルトは、劇場の人でもありました。オペラ・セリア、ブッフア、ジングシュピールと劇場作品は20曲以上を数え、いまでも世界中で上演されて高い人気を誇っています。今回は、こうした劇作品や室内楽を中心に、映像や録音などを鑑賞しながら、その魅力に満ちた世界を紀行します。時間の関係で前回もれたピアノ曲や歌曲、コンチェルトなども、随時、解説していきます。		開講時間 13:30 ~ 15:00
講師	受講料	
瀬戸正昭(詩人・詩誌「饗宴」主宰者)	全5回 7,500円(6,000円)	
備考	定員10名。[受講料の()は北海道文学館賛助会員受講料]	

イタリア文学購読「マタイ伝を読む」(継続講座)

講義概要		開講日
<p>『マタイ伝』講読もいよいよ「山上の説教」まで来ました。 わたしたちが日頃親炙している言葉や思想の源流をイエスの言動のなかに見だし、イエスの影響がいかに大きいか、当時の人々がいかに感銘を受けたかということを感じています。たとえば「人はパンだけで生きるのではない」という言葉を悪魔の誘惑の件で読んだ時の驚き。 さらにシモンやアンデレが仕事の漁をただちに捨ててイエスに従ったこと、また病気の人になぜ苦しい体でイエスのもとまで馳せ参じ、わざわざイエスの衣に触れたのかということの意味にも思いをいたしています。 イエスとの関係で、旧約聖書にも目を配っています。</p>		6月5日(土) 7月3日(土) 9月4日(土) 10月2日(土) 11月6日(土) 12月4日(土) 1月8日(土) 2月5日(土) 3月5日(土)
		開講時間
		13:30 ~ 15:00
講師	受講料	
工藤知子(イタリア文学者)	全10回 15,000円(13,500円)	
備考	定員10名。[受講料の()は北海道文学館賛助会員受講料]	

注 意 事 項

< 共通事項 >

各科目とも1回の講義時間は90分です。

会場は北海道立文学館地下講堂です。

テキストについては、講座紹介に記載がない講座は、原則として講師のほうで用意します。
テキスト使用講座の場合は、テキスト代（実費）を別に納入していただきます。

講座によっては、講師がレポートの提出を求める場合があります。レポートなどの扱いについては、担当講師の裁量にお任せしています。

受講者は筆記用具をご持参ください。

< 受講申込要項 >

受講申し込み方法

添付の申込用紙に必要事項をご記入のうえ、事務局までお申し込みください。申込用紙は、電話またはFAXでもご請求いただけます。

定員に達ししだい受付を終了します。また受講申し込みが5人に達しない場合は、閉講する場合がありますのでご了承ください。

なお、定員に達したため受講をお断りする場合、及び受講者が5人未満で開講できない場合のみ、事務局から連絡いたします。それ以外は、お申し込みいただいた時点で受講可能ですので、開講日においでください。

文学館会員の方は、受講料に会員割引の特典があります。

（「児童文学創作教室」は日本児童文学者協会北海道支部会員にも割引の特典があります。）

受講料は、開講初日にお納めください。領収書をお渡しいたします。

納入済みの受講料については、原則としてご返却いたしかねます。

修了証等は、発行いたしませんのでご了承ください。

注意事項をご一読のうえ、お申し込みください。

(財)北海道文学館では賛助会員(年会費3,000円)を募っています。詳細はお問い合わせください。

受 講 申 込 票 2 0 1 0

受講 No.	ふ り が な 氏 名	性別	住 所 〒 —	
e-mail address		電 話 — —	FAX — —	
生 年 月 日		年 齢	現在のご職業等（職種あるいは勤務先等）	
19 年 月 日		緊急時の連絡先（携帯電話等） — —		
受講を希望 する講座・ の名称	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童文学創作教室 ・ 遺書にみる人間ドラマ ～生と死のはざままで～ ・ 朗読で楽しむ北海道の文学 ・ イタリア文学講読「マタイ伝を読む」（継続） ・ 折口信夫・釈迺空一学問と作品を読む ・ モーツァルトの楽しみ パートⅡ ・ シネマにみる文学の風景 <p>（受講希望講座に○をおつけください）</p>			
（以下は差し支えない範囲で自由にお書きください。）				
特に関心のある文学・ 芸術等の分野				
ウィークエンド・カレッジ 受講の動機等				文学館の 会員ですか？ ・ YES
事務局 記載欄				受 付 2010 月 日